

IN FOCUS

フレグランス・トレンド最前線

5人の識者による香水評

“自分だけの香り”に出会う

ジヨーマローンの魅力は、「フレグランス コンパニング」を提案している点だ。複数のコロンを重ねづけしたり、バスオイルやローションからそれぞれ好みの香りを選び、複数重ね合わせることで「自分だけの香り」を小粋に楽しめる。香りととの付き合い方は人それぞれ。ある意味、その人のライフスタイルに通じるものがある。今回は様々なジャンルで活躍する5人が代表的なコロンのコレクションから好きな香りを選び、その芳香から喚起されるイメージを表現した。香りととの新しい付き合い方を探る参考にしたい。



Red Roses



「レッドローズ」

中野香織

服飾史家・エッセイスト・明治大学特任教授

PROFILE: 1994年東京大学大学院博士課程単位取得満期退学。86年及び94年英国ケンブリッジ大学客員研究員。著書に「モードの方程式」「着るものがない!」(ともに新潮社)、「スーツの神髄」(文春新書)など

Pomegranate Noir



154

「ボメグラネート ノール」

「154」

Elita

ヘア&メイクアップアーティスト

PROFILE: 国内外の広告、ファッション誌、ハリコレをはじめとしたショー、ハレエなど多数の分野で活躍。世界中のセレブリティからの信頼も厚い。現在は東京とパリにベースを持ち、多岐な日々を送る (AVGVST所属)

ジヨーマローンをはじめて知ったのは、ジム・ジャームッシュ監督・脚本の『コヘヒー&ジガレット』という短編集のような映画の中で。ケイト・ブランシェットがまったく対照的な外見のいとこ同士を一人二役で演じており、「成功して洗練されたケイト」(もう一人はロウワーでがさつなケイト)が手にもっていたシヨットピングバッグがジヨーマローンのものだったのです。

ジャームッシュが「ハインの象徴」のように映したジヨーマローンがなんとなく気になり、ロンドンに立ち寄る知人に頼んで買ってもらったのが、「レッドローズ」。ひとふきしたとたん、朝つんだばかりの100本の赤いバラをスミレ色のリボンで束ねて贈ってもらったような幻覚を見ました。優雅で華麗なのに、あくまでも新鮮、透明で、すがすがしい。ねばっこくない、りりしい官能

が開いている感じ。世界中から集めた7種類のバラが使われているというその香りは、これぞ「ザ・バラ」といった王道感にあふれていました。以後、堂々と「主役」の気分を楽しみたいこの一番の場面には必ずとっていきます。オンでもオフでも、これさえあれば自分らしさを隠せず出せるという点で、ひそかに自分のアイコンのフレグランスと位置づけています。もう10本以上使い切りましたが、飽きのこない香りです。

変化がほしいときには、「チュベローズ」や「ハニーサックル & ジャスミン」を重ねづけします。上質な天然香料でつくられているので頭が痛くありません。重ねづけすることでバリエーション豊かに個性的な香りを楽しめるようにデザインされているあたり、作り手に信頼されているような嬉しさも覚えます。

幼い頃の記憶を辿ると多くの香りがあります。実家が日本舞踊の家元だったせいか、特に強烈に覚えているのは、芸者さんとの別荘に遊びに行ったときに香るにおい袋やお香の香り。すこくエレガントで色っぽく思わず付いていっちょやうくらくらい好きだった(笑)。自分の人生が豊かに感じられるのも、香りの記憶があるからです。

仕事のためにパリで暮らして始めてもう20年近くになりますが、ヨーロッパでは毎日の生活の中に香りが溶け込んでいると感じます。香水をまとうのは癒を磨くのと同じ感覚です。日本では思春期に初めて香りを意識する人が多いせいから、大人でも嗅覚が十分に開発されていない人が多い。生活の中でニンジンなどの甘い香りやトマトの青臭さを知る機会が少ないせいもあるのかもしれない。写真に納まるメイクアップは視覚に訴える二次元の世界ですが、そ

ここに香りのイメージをプラスすると立体感が出て、静止画に息を吹き込むことができます。自ら手掛けるメイクアップのデモンストラーションでは、友人の調香師にテーマに沿った香りを作ってもらい、会場に充滿させたことも。香りまでコーディネートして初めて「完成」という感覚は、今後も大切にしていきたいですね。

ジヨーマローンには香りを重ねづけできる楽しみがあります。オススメは「ボメグラネート ノール」と「154」のコンビネーション。日中は「ボメグラネート ノール」のウッドディンディンに癒やされ、アフター5に「154」の清涼感をプラスすれば、シャワーを浴びてきたような心地に。恋人に会う気分になれないような忙しい日でも、香水をつけることでスイッチが入ることがありますよ。ね 究極の夢は、いつか自分で香りを作ることかな。

ヘア&メイクアップアーティストのElitaは、スズランやジャスミン、コリナシ、ローラル系の優しい香りが好きだというが、意外にもローズの気に入った香りにはまだめぐり合